

# 謹賀新年 北見武道通信 年頭の御挨拶

平成 26 年 1 月 4 日 00151 号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.tosiharu@navy.plala.or.jp

ニュースレター【事務局情報】

## 新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様には輝かしい新春を迎えられたことと、心よりお喜び申し上げます。

昨年は、北見市民が待ち望んでいた北見市武道館が完成し、10 月 19 日、晴天にも恵まれ落成記念式典が華やかに行われるなど、実に素晴らしい年になりました。

北見市武道館開館記念事業には、ロサンゼルス五輪の柔道金メダリスト、山下泰裕先生をお迎えし「人生の金メダルを目指して」と題した基調講演をいただくことができました。このことは、北見市の歴史的な出来事となり、北見市民全ての人と武道関係者にとりまして、この上ない喜びでありました。

また、武道館落成を記念して行われた「北見市武道館開館記念第 18 回北見市総合武道祭」におきましても、地方より、古武道の「北海道なぎなた連盟」と「柳生心眼流兵法」の皆様をお招きし、武道演武大会に参加していただき、武道祭に華を添えていただきました。北見市武道館がこのような素晴らしい幕開けを迎えられたのも皆様のご協力のおかげであると深く感謝をしている次第です。

その後、特定非営利活動法人北見市武道振興協会は順調に北見市武道館の指定管理者として管理運営に従事させていただいています。山下泰裕先生の「北見市武道館は市民全ての財産」と言われたことを忘れることなく、多くの市民に親しまれ喜ばれる武道館を目指したいと考えています。

また、山下先生より頂いた「挑戦」の二文字を深くかみしめ、北見市武道館を通して、武道団体が力を合わせ、武道が掲げる「青少年の健全育成と共に自己の研鑽の実現」に向け、挑戦し続けたいと考えています。

結びに、今年一年が皆様にとりましてご健勝にてご活躍され、幸せ多い年でありますことをご祈念申し上げ年頭の挨拶と致します。

## 連載 中国「老子」の思想

### 三十五章 「道」は用いてこそ価値がある

万物の根源たる「道」にのっとって政治をとれば、摩擦はいっさい起こらず、天下は平穩である。

快い音楽が聞こえ、うまいご馳走が目につけば、道行く人は足を止めるだろう。

だがこの「道」たるや、語って聞かせてもまことに淡白で、味もそっけもない。眼を喜ばせることもなければ、耳を楽しませることもない。

「道」は、用いられてこそ、尽きぬはたらきを示すものである。

原文:執大象、天下往。往而不害、安平太。樂與餌、過客止。道之出口、淡乎其無味。視之不足見。聽之不足聞。用之不足既。三十六章に続く

